

国指定重要文化財（勝鬨橋）長寿命化検討委員会（第6回） 議事要旨

【開催日時等】

- 開催日時:令和3年3月30日(火)9:30～11:30
- 場 所:東京都庁第一本庁舎 33階 特別会議室 N3
- 出席委員(別紙)

【議事内容】

1. 道路照明改修の方針について

- ・現在の道路照明は、設置から約30年経過。老朽化が進んでいるため更新が必要である。
- ・初代灯具の図面が確認できた。灯具を復元して建設当時の橋梁の外観を可能な限り保全する方向で検討を進める。初代灯具の価値を整理することが重要である。
- ・復元にあたっては、建設当時の灯具配置を基本として、光源は現代の技術であるLEDを採用する。現行基準に対して、照度等が不足する箇所には補助照明を設置する。
- ・灯具のディテールは次回の委員会で検討する。

2. RC床版（側径間）の長寿命化対策の方向性について

- ・広範囲で補強鋼板のうきが発生しているものの、鋼板の一部を撤去して調査した結果、橋面など外部からの水の侵入は認められず、漏水やひび割れが確認されていないことから、建設当時の部材（RC床版）を保存したまま対策が可能な樹脂再注入工法を基本とする。

3. 鋼床版（中央径間）の長寿命化対策の方向性について

- ・昭和53年に取替えられたパネル型鋼床版に疲労亀裂が発生、接合部からの漏水もある。
- ・建設当時の部材(床組)を残して、パネル型鋼床版を取替えることを基本とする。
- ・跳開橋としての重量バランスを考慮し、建設当時の重量と大きく変わらない方法を検討する。また、工事による交通への影響が最小となるような割付を検討する。

4. A2橋台（月島側）の耐震性能照査について

- ・これまでの標準的な照査に加え、より実現象に近い結果を得るため、上部構造から橋台、橋脚への荷重分担を見直し、さらに、地盤への逸散減衰を考慮した検討を行い、必要な耐震性を有していることを確認した。

以 上